

戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R3.2.26
記録者	芹澤

日時	令和3年2月26日 13:00~15:30	出席者	染川、武長、野口、伊藤、佐貫、 芹澤、
場所	戸田市東部福祉センター2F		

議題

会長報告
副会長・委員会報告
各理事・委員会報告

会議内容

染川会長報告

- 3月末で決算となります。各委員会の経費報告を行ってください。
- 県薬で地域代表者会議が ZOOM で開催された。その他の会議はほとんど書面会議。
- 助成金の締め切り、オンライン資格確認の申請など会員薬局においてはいろいろな手続きあり。
- 薬機法の改正で服用後フォローや調剤録についての変更等あったが、各会員薬局にて適切に対応して頂きたい。また、オンライン服薬指導と 0401 対応がごっちゃになりやすいが、オンライン服薬指導は対面による服薬指導が必要であることに注意してください。
- 新型コロナウイルスのワクチン接種について、要請が来ているところ、来ていないところとあるが、現時点で戸田市薬剤師会には協力要請はない。今後要請あれば何らかの形で速やかに伝達する。

武長副会長

<学校薬剤師委員会>

- 学校薬剤師は、今までの議論をふまえ、日程の組み換えを行った(別紙参照)。プールについては未定。また、給食の業者選定について行政より意見を求められたので、「実績のある業者でお願いしたい」と回答。川口市、蕨市でも契約しており、アレルギー食に細かく対応する業者ということで納得した。

野口副会長

- 「地域活動チーム(仮称)」の創設提案。詳しくは別紙参照。背景として、戸田市にある医療資源としての薬剤師の掘り起こし、活性化と地域貢献活動を結び付けられないか、とのこと。実際かかりつけ薬剤師になるための要件もあり、地域貢献活動を要望する薬剤師は多いのではないかと。これに対し大枠で全会一致で承認。実際詳細を決めて動き出すのは、6月以降の新しい体制での話になるが、薬剤師会の新たな会員区分とすかどうか、名前を付けたらよい、といった意見もあり、今後も継続して詰めていくことになる。

伊藤理事

- 難病対策委員会会議出席。

<学術研修委員会>

- Web 研修会を企画しようか検討している。

<保健委員会>

- 戸田中央総合病院の新規受け入れに関する会議に出席したが、具体的に決まった事項はない。

佐貫理事

<薬学性実務実習委員会>

- 1 期実習始まった。平時は実習開始前に小委員会を開催して細かなことを確認しあうが、今回はメールで伝達した。「各薬局で特徴を出しながら実習を行う」ことで指導薬剤師と合意している。
- 新しい指導薬剤師の登用が課題であるが、現在ワークショップは開かれていない。
- エリア長から来年度の学生受け入れアンケートきている。

芹澤理事

<総務委員会>

- 会員薬局による新型コロナ陽性患者受け入れ態勢のリストできた。医師会にリストを送付する。
- 佐貫理事より針回収の件について質問あり。これまでの経緯を染川会長より回答。本当に会員が拠出した会費から補助する案件なのか慎重に検討しなければならない。行政や医師会との連携もあるので一度始めたら簡単にやめられないことなど、総合的に今後検討を重ねる。
- 選挙の準備にとりかかる。選挙管理事務所並びに選挙管理委員長を選ぶ必要がある。当該薬局、当該会員に何も打診していない段階で、まず理事会で決をとりたい。総務委員会委員、前回の経験があり、理事会のメンバーの関連する薬局ではないとの事情もふまえ、「戸田鈴薬局」を選挙管理事務所、「逆井悟先生」を選挙管理委員長に推薦し、全会一致で承認された。後日逆井先生に説明しお引き受けいただけるよう努力する。
- これまで染川会長や野口副会長より透明性の確保を命題として、立候補、推薦の別の記入など前回以上にクリーンな選挙を行いたいと思ひ準備する。今回投票用紙の紙について、コピーできない特殊なものにすることや、投票用紙には薬剤師会の朱印を押すことが新たに追加された。
- ZOOM の契約について、理事、会員からも声が上がっており、前回理事会でも在宅委員会の Web 座談会の報告を踏まえ有料契約の必要性が訴えられたところである。速やかに総務委員会として契約したい。

決定事項

- 「地域活動チーム（仮称 9）の実施

- ZOOM 契約
- 選挙管理委員長、選挙管理本部設置

検討事項

- 会営薬局の開設
- 災害、パンデミックに対する備蓄用品のルール作り。
- 注射針回収事業
- 戸田市、地域に貢献する活動
- 薬薬連携の深化
- Web 講演会
- 「地域活動チーム」の詳細事項の決定